

授業改善推進プラン

氏名（ 加藤 涼子 ） 担当教科（ 音楽 ） 学年（ 1 学年 ）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートから分析すると、どの項目も80%前後の生徒が肯定的な回答をしている。「授業の最後に振り返る場面がある」と100%の生徒が肯定的に回答したのに対して、「授業のはじめに目標が示されている」は20%程度の生徒が否定的に回答している。また、どの質問項目も「まあまあ当てはまる」と回答している生徒が一番多く見られるとともに、合わせて15%（4人）程度の生徒が否定的に回答している。

授業等の課題分析

個別に支援が必要な生徒が多く見られるとともに、授業内のルールを理解させることに時間がかかった。年度当初に比べると、興味・関心をもって授業に取り組み、授業に積極的に取り組むことができる生徒が増えたが、授業の単元によって取り組む姿勢に差が見られる生徒や受け身で指示をされないと取り組むことができない生徒も多く、授業の流れや内容を理解させ、自主的に取り組むことに課題を感じている。



目指す授業

- 音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
- 音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。



授業改善のための具体的な方策

- どの単元でも、1時間の授業の流れ（ねらいの提示→授業の流れ→活動→振り返り）を崩さないことで、生徒が目標を把握し、それに対しての振り返りをする時間を確保する。また、本時のねらいと振り返りの項目に整合性をもたせ、生徒が本時の目標とそれに対しての成果や課題を把握できるように工夫する。
- 安全に配慮してペアやグループでの活動を行うことで、全ての生徒が参加し、生徒同士が学び合う場面を設定する。
- 実技的な個別指導をより丁寧に行うことで、個に合った学習をし、自信をもって授業に取り組むことができるようにする。

授業改善推進プラン

氏名（ 加藤 涼子 ） 担当教科（ 音楽 ） 学年（ 2 学年 ）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートから分析すると、どの項目も80%前後の生徒が肯定的な回答をしている。否定的な回答が目立っているのは、「他者の考えを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができる」に対して20%（6人）であった。また、8つの質問項目のうち、5項目で、「当てはまる」よりも「まあまあ当てはまる」の割合が多く見られた。

授業等の課題分析

全体的に落ち着いて授業を受けているが、積極的な生徒に限られており、発言も特定の生徒がする傾向が見られる。また、話し合い活動では、自分の意見よりも信頼している生徒の意見を正解だと考える生徒もおり、特に苦手意識を入学時からもっている生徒にその傾向が強い。与えられた課題を最低限取り組む状態から、積極的に楽しんで授業に臨めることが課題である。



目指す授業

- 音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
- 音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。



授業改善のための具体的な方策

- 常時活動の充実を図り、音楽的な知識や経験を増やすことで、生徒一人一人の自信を深め、積極的な姿勢を育成する。
- 「自分の意見」→話し合い→「他の意見を聞いた後の自分の考え」の変化が感じられるようにワークシートの構成を工夫する。
- 授業の流れとポイントをより明確にすることで「わかった」「できた」とより多くの生徒が感じられる授業を構築することで学ぶ楽しさにつながる授業を目指す。

授業改善推進プラン

氏名 (加藤 涼子) 担当教科 (音楽) 学年 (3 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートでは、どの項目も肯定的な回答が多く見られた。特に、「自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられている」に対しては、肯定的な回答が100%だった。一方、否定的な回答としては、「授業の最後に学習内容を振り返る場面がある」に34%（7人）、「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができる」に24%（5人）があった。

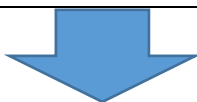
授業等の課題分析

どの単元も、落ち着いて授業に取り組むことができている。特に、今年度になってからは、全体的に積極的に取り組もうとする生徒が増加しているように感じる。一方、アンケートの結果のとおり、自己表現することに抵抗がある生徒が一定数おり、個別の指導・支援が必要である。



目指す授業

- 音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
- 音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。



授業改善のための具体的な方策

- 常時活動の充実を図り、音楽的な知識や経験を増やすことで、生徒一人一人の自信を深め、積極的な姿勢を育成する。
- 「自分の意見」→話し合い→「他の意見を聞いた後の自分の考え」の変化が感じられるようにワークシートの構成を工夫する。
- 授業の流れとポイントをより明確にすることで「わかった」「できた」とより多くの生徒が感じられる授業を構築することで学ぶ楽しさにつながる授業を目指す。